



Vol 162

Graphic
Communications
Chubu
industry
association

[Spring]

春

発行

発行所 愛知県名古屋市中区東水切町3丁目40番地
株式会社伊藤美藝社製版所 内
TEL.052-938-8662 FAX.052-914-6064
編集人 中部 GC ブランディング広報委員会

G C 中部・新年互礼会

第一部・新春講演会

簡単ストレッチで
筋肉の老化を防ぐ

平成30年1月18日(木) 18時から
名古屋東急ホテル4階「栄の間」に
おいて、新春互礼会が行われました。

第一部では、トライアスロンコー
チ・健康運動指導士 政岡美里氏に
『簡単ストレッチで筋肉の老化を防
ぐ』をテーマに、ご講演頂きました。

政岡氏は、プロのトライアスロン
選手として世界を転戦されており、
引退後はトライアスロンコーチや経
営者の方のパーソナルコーチとして
スポーツの指導をして現在も活躍中。
世界のスポーツ指導方法が日本と
全く違うことにショックを受け、特
に「時間の使い方」や「選手への声
のかけ方」一つとても合理的な指導
に感銘を受けたとお話がありました。
メンタルヘルス改善に力も入れて
おり、うつ病の方等の改善プログラ
ムも指導。オフィスでできる簡単ス
トレッチとして『肩こり』『腰痛』
『目の疲れ』『脳の疲れ』を改善する
運動を企業にご指導をされています。



日本人は世界一、長時間座ってい
る事が体調不良の原因と説明された
上で、普段から小さな運動(エレベ
ーターではなく、階段を使うなど)を
するだけでも、徐々に改善されてい
くと、アドバイスを頂きました。

次に腕・腰・足の柔軟性、バラン
ス力のストレッチを行いました。
実践ではストレッチを通して肉体
をリラックスさせたはずなのに、自
分の体の固さに悶絶し、冷や汗をか
く結果となった方が殆どでした。



トライアスロンコーチ
健康運動指導士
政岡 美里 氏

FUJIFILM
Value from Innovation

オフセットもPODも、前工程も後工程も。
すべてのソリューションの真ん中にFFGS

FFGSは、ワークフローからCMS、そしてポストプレスにいたるまで、PODを、広く深く包括的にサポートする。戦略を立案し、皆さまと共にビジネス拡大に挑む。私たちはつねにソリューションの軸になり、あらゆる角度から、業界発展を促す大きな風を起し続けます。



富士ゼロックス
Iridesse™ Production Press



富士ゼロックス
Versant™ 3100 Press



富士ゼロックス
DocuColor 1450 GA (Model-NE)



回そう、印刷。
拡げよう、ビジネス。
PODが起こす大きな風で。

FFGS POD SOLUTION

富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フイルム名古屋ビル 052(201)8171

ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

第二部 新年互礼会

第二部・新年互礼会は、19時より行われました。

加藤理事長・挨拶

開会の辞を山田学副理事長が宣言し、加藤啓介理事長より、『60歳を迎えるにあたって、衰える体力・知力・気力より魅力の3つのアンチエイジングをしなくてはならないと、2年ほど前から政岡氏にパーソナルコーチとしてお願いし、現在体重も減り体力の改善に燃えています。』

中部GCは全国でも若手のメンバーが多いグループです。そこで12月には名古屋でロボット開発をされている方のセミナーを開き、お話をさせて頂きました。色々な角度から知識を広め、会社を持ち帰った内容を役立てて頂きたい。

色々な意見を頂き、実現化できる組合であるよう、今年もお願いいたします」

とご挨拶を頂きました。

細井理事長・挨拶

次に愛知県印刷工業組合・細井俊男理事長様より、『大きく変わる今年です。今年に限っては「悪くなる要素は無いのではないか」と言われているので、印刷業界と皆様の業界ともコラボしていかなくてはならない時があるのではないかと。基礎を元に他のことにもチャレンジをしなければいけないのではないのでしょうか!』とご挨拶を頂きました。

第一部風景。
様々なストレッチを
皆様と一緒に体験頂きました。

乾杯挨拶

乾杯の挨拶を株式会社モリサワ名古屋支店長・黒田様が声高らかに行われ、楽しい時間が過ごされました。中でもクイズ形式のビンゴゲームがあり、大いに会場が盛り上がりました。最後に中締めとして中田雅文副理事長が感謝を述べられ、閉会となりました。

- 1 ビンゴ大会風景 2 加藤理事長
3 愛知県印刷工業組合・細井理事長
4 株式会社モリサワ・黒田氏



第7回 くるま座勉強会

平成29年12月6日(水)18時より、株式会社エスケイワード会議室において、第7回くるま座勉強会が行われました。今回は講師に、有限会社海馬 金田隆昭ディレクターをお招きし、システム会社からロボット開発事業への転身についてお話を頂きました。勉強会の後は場所を移動し、第二部として忘年会を行いました。



有限会社海馬
金田 隆昭 氏

忘年会

鉄板Izumi~さんかい~にて





なぜ日本人は 世界一 クリエイティブなのか

～3つのキーワードで紐解く～

平成29年11月10日(金)、ウイנקあいちにおいて「第5回・クロスメディアアカンファレンス」が開催されました。

今回はブルーカレント・ジャパン株式会社代表取締役社長 本田哲也氏を講師にお招きし、日本のクリエイティブについてご講演頂きました。

講演では、海外の事例を前半に紹介した後、海外から見た「日本の評価」についてお話頂きました。

◆世界レベルのクリエイティブ

まず海外の事例では、世界的広告の祭典「カンヌライオンズ」で評価される作品について、実際の映像と共に3作品紹介頂きました。

どの作品も表現方法が独特で、柔軟な発想力と意外性を併せ持った非常にクリエイティブな作品で、世界のレベルの高さがうかがえます。

紹介された作品名

- **Meet Graham**
(オーストラリア)
- **LIKE MY ADDICTION**
(フランス)
- **Fearless Girl**
(アメリカ)



本田氏はこれらの作品について『思いつきそうでも思いつかないところが、評価された』と見解を述べた後、『絶対追いつけなさそうなものが評価されていることよりも、現代的な知恵を使ったものが評価されたことは自分達にも可能性が広がり、勇気づけられた』と述べました。

参加者の方々もその言葉に共感と勇気を与えて頂きました。

◆世界から見た、日本の評価

海外の事例を「洗練された世界」と称された上で、『世界からみて、日本はどのように評価されているのか』について、2014年にアドビが行ったアンケートの結果を持ち入りながら説明されました。

「一番クリエイティブな国はどこか」を質問したアンケートで、一位は日本でした。これに対し本田氏は、「同じ質問を日本で行うと、一位はアメリカになる。日本人が思っているよりも、日本のクリエイティブは世界で評価されている」と述べました。

これを裏付ける代表的な事例では、『絵文字(emoji)』の話が例に挙がりました。

絵文字は日本発祥の文化ですが、日本でのブーム自体は、数年前から落ち着きをみせています。一方海外では、数年前から絵文字がブームとなっており、2015年には、ワード・オブ・ザ・イヤー(オックスフォード辞典選考)に絵文字が選ばれ、話題となりました。今では世界各国に浸透し、「emoji」は最も普及した世界共通言語だ」と語る専門家が居るほどです。

これらは海外からの「日本はクリエイティブだ」という評価に繋がっており、日本もまた、海外のクリエイティブに負けていない事がうかがえる事例です。

◆なぜ日本人はクリエイティブなのか

ここでいよいよ、話題は「日本のクリエイティブとは何なのか」へ移りました。

本田氏はまず最初に、海外が持つ日本人の印象は、「クールジャパン」「完璧主義(細部に拘る)」といった少し固い印象を持つ一方で、「少し変わった(斜め上を行く)思考(印象)」もあることを述べました。

そのような印象がある要因については、「不完全の美学・破壊を促す幼児性・想像的な模倣の三つのキーワードに集約される」と述べ、その詳細の解説へ移りました。

まず「不完全の美学」とは、「わざと不格好にする」事を指すそうです。実際に日本の陶器を挙げられ、陶器は「歪んだ器(あえて左右対称を避けたもの)」であるからこそ、芸術として評価を得ているのだと解説されました。この「あえて崩す」という考え方は日本独特の考え方で、それは完璧主義の日本人だからこそ、完璧をギリギリ回避して表現された「ゆるさ(面白さ)」を生み出し、日本人ならではのクリエイティブである、と説明されました。

次の「破壊を促す幼児性」とは、『幼児的な自分』と「大人の自分」の2つの面を兼ね備えて産まれた発想(インナーチャイルド)について述べられました。

これは日本人の、「秩序(規則正しい)」という印象がある一方で、「子供らしい発想」を合わせ持った「強み」を活かした考え方です。

例えばユーチューブで再生数が伸びている『面白い物』も、考えられた時点では全てが計算されて作られたものではなく、「子供の



ブルーカレント・ジャパン株式会社
代表取締役社長／CEO **本田 哲也** 氏

1970年生まれ。戦略PRプランナー。米府ラインシュマン・ヒラード上級副社長兼シニアパートナー。「世界でもっとも影響力のあるPRプロフェッショナル300人」にPRWEEK誌によって選出された日本を代表するPR専門家。

セガの海外事業部を経て、1999年、世界最大級のPR会社フライシュマン・ヒラードの日本法人に入社。2006年、スピノフのかたちでブルーカレント・ジャパンを設立し代表に就任。2009年に「戦略PR」(アスキー新書)を上梓し、広告業界にPRブームを巻き起こす。世界的なアワード「PRWeek Awards 2015」にて「PR Professional of Yera」を受賞。

視点・気持ちに立ってやってみたいと考えた事『幼児的な自分』が生み出した物』を、『大人の自分』が仕事として秩序を保ちながら形にする』ことで成り立っている。

『大人の自分』だけでなく『幼児的な自分』も合わせ持つことで、創造を凌駕するクリエイティブを發揮する事ができる、と説明されました。

最後の「想像的な模倣」では、「真似をすることででのクリエイティブ性の増幅」について述べられました。

ここでの「真似をする」というのは、単に真似をするだけではなく、「真似をした物に対して自分なりに咀嚼し、勉強(自分の引き出しの増加)をする。その上で新しい付加価値をつけて、再構築を行い、より良くしていくこと」を指されていました。これは日本人が元々持っている真似をする考え方(上手く真似をして高める『想像的な模倣』)であり、近年ではインターネットが發達した事で、以前よりも更に力が發揮できる環境になっていると説明されました。

◆ 総まとめ

最後にまとめとして、本田氏は「リバーズエンジニアリング」が重要。評価されている物が何なのかを突き詰める。それを再現性を持って行えるか。

これを行う事で、少し違った視点が見えるようになり、同じような仕事でも、海外から注目される事ができるようになるかもしれない。

元々持っている日本人としてのクリエイティブを生かし、今まで気がつかなかった視点に気づいて貰いたい。日本人らしさは海外に評価されている事なので、共に頑張っている行けたらと思う」とまとめられました。

一時間半の講演ではありましたが、本田氏のお話された内容はどれも勇気がわいてくるお話ばかりで、参加者の方々も、講演が終わった後も熱が冷めない表情をされている方が多くみられました。

日本人が世界一クリエイティブであること、それを誇りとし、頑張っていこうと勇気を頂き、大変好評のまま閉会となりました。



当日は61名もの方々にご参加頂きました。

◆ 参加者アンケート回答

当日は大変多くの方々にアンケートにご回答を頂きました。今回はその中から、一部抜粋の形で紹介させて頂きます。

◎ 国ごとに見方、面白さが違うことが意外で、感じていることを表現させてもズレがあるということも初めて知りました。

◎ 日本のデザインがこんなに評価されていると思わなかったです。

◎ 日本人の性質(性格)が世界から見ても良い意味で異質であるということを感じました。

◎ 国内からの視点ではなく、実際に海外から見た日本のクリエイティブについての話に、説得力があつて良かったと思います。

◎ 日本がクリエイティブという感覚はあまりなかったのですが、実例を見ながら客観的に日本を分析された話を聞いて、わかりやすく面白かったです。

◎ 絵文字が海外で評価されていることがとても新鮮に感じました。考え出したのが感性豊かな外国人ではなく日本人というところが興味深いです。

◎ 客観的でありアカデミックな考察に感銘を受けました。己を知って百戦あやうからず。

◎ 大人にならないといけないと感じることが多くなって来ましたが、まだまだ楽しいことを沢山して、仕事に活かして行こうと思えました。



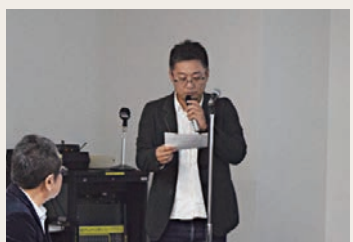
■ 加藤理事長・挨拶

『印刷業といっても、実際に取り組んでいる内容は各社まちまちになってきており、「広告業」という物はあるのか？という時代。この10年、デジタル化で大きな変化があり、「どれを選べば上手くいく」という保証も無い。今回の内容も、すぐに取り入れられる物もあれば、すぐには難しい物もあるかもしれないが、「少し先の傾向を専門家に聞くこと」がカンファレンスの目的』とご挨拶を頂きました。



■ 絵文字の起源について

iModeの登場により日本では一大ブームメントとして広がった絵文字。その起源をより深く探っていくと、元祖は江戸時代の手紙の中でも、絵と文字が合わさった手紙が発見される。古くから日本では、文字を絵で表現する文化があったようです。



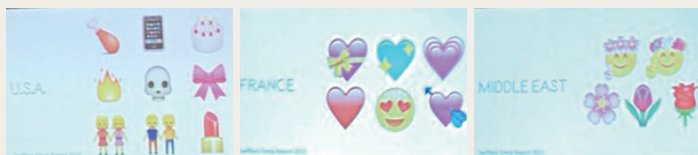
■ 川原委員長・挨拶

『20年を振り返るとDTPは「写植機→電算写植→Adobeのパッケージソフト→Adobeのクラウドサービス」へ移り変わり、WEBもDTPも徐々に「誰でも出来る世界」になってきている。その中で「プロ」として生きる為には、「仕事を極める」事が大切。プロの方のお話を聞いて、想像力を高めて欲しいと願って、今回のカンファレンスを主催した』とご挨拶を頂きました。



■ 講演中の風景

今回の講演では、多数の映像を持ち入りながら、大変わかりやすくご紹介頂きました。参加者の皆様も、大変熱心に映像を観られていました。



■ 海外での絵文字の人気について

左から順に「アメリカ」「フランス」「中東」で、それぞれ一番使われている絵文字。一口に絵文字と言っても、国々によって使い方が異なる事が伝わってきます。



■ 質疑応答風景

講演の後、お時間が許される限り参加者の方々の質問にお答え頂きました。

NEWS

今後開催予定のイベント・セミナー情報、各種お知らせ等をお届けします。

愛知県印刷工業組合主催の 親睦ゴルフコンペ開催のご案内

愛知県印刷工業組合主催の「関連業界との交流を目的とした親睦ゴルフコンペ」が開催されます。

お一人様でも、関係各位お誘い合わせの上でも、ゴルフが好きな皆様方にご参加いただけます。

皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

- 日時：平成30年9月11日(火) 8:48～
- 場所：セントクリークゴルフクラブ
豊田市月原町黒木1-1
- 会費：お一人様 5,000円
- プレー代：お一人様 約17,300円

- お問合せ 愛知県印刷工業組合事務局・勝野様宛
電話 052-962-5771

■ フォントの日

先日4月10日は『フォントの日*』でした。

この日のSNSでは、フォント関連の話題が朝から絶えず流れており、よく目にするフォントから少し珍しいフォントまで、数々のフォントを目にできた一日でした。

Twitterでは「#フォントの日」で検索すると当日の様子が追えたりするので、ご興味ある方は是非ご覧になってみて下さい！

(山中)

※「フォン(4)ト(10)」と語呂合わせで読める事から、Adobeが2017年に日本記念日協会に正式な記念日として登録した日

■【ご注意！】AppleOS・アップデートの仕様変更

4月12日より、macOSの通常アップデートとして『macOS High Sierraの配布』が開始されました。

以前までは『アップグレード』として表示されていたHigh Sierra。今回の仕様変更で、『(すべての) アップデート』をクリックすると、自動的にOSがHigh Sierraへアップグレードする仕様に変更になったようです。

High SierraではCS6が非対応のため、万が一CS6未満のバージョンを使っているmacをアップデートしてしまうと、それらが使えなくなってしまいます。『OS X 10.9.5 Mavericks』または『OS X 10.10.x Yosemite』が搭載されているHigh Sierra対応のMac』が対象だそうなので、該当のmacOSを使われている方はご注意ください。

インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

チラシ、パンフレットなど、あらゆるコンテンツを多言語化し、スマートフォンやタブレット端末に向けて、配信するクラウドサービスです。

詳しくは www.morisawa.co.jp



□ 広告募集中 □

GCCでは本誌面に掲載する広告を募集しております。

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

アルミ・伸銅品
ステンレス・亜鉛版

兼岩株式会社

ノースセンター 本社
清須市阿原鴨池188 名古屋市中区伊勢山二丁目5番9号
電話: (052) 401-0555 電話: (052) 332-0555 (代)

各種印刷製版用機器・資材販売
製版・油性・UV印刷薬品製造販売

UENO **ウエノ株式会社**
名古屋営業所
〒464-0855 名古屋市中千種区千種通り5-8
TEL 052-741-5351 (代)
http://www.uenocorp.co.jp

TOYO INK

生活文化創造企業
www.toyoink.co.jp

東洋インキ株式会社 中部支社
Tel: 052-218-7460

KOBUNDOは、
真の「ソリューション企業」へ

クライアントのみならず、クライアントが抱えるユーザーの満足度を満たすために。



印刷機材の総合商社 **株式会社 光文堂**
本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052 (331) 4111 (代)

<http://www.kobundo.co.jp>

SCREEN
ACHIEVE THE EXTRAORDINARY
IN PRINT



SCREEN **GPB**
EQUIOS
ART & UX

株式会社 **メディアテクノロジー ジャパン** 名古屋支店 / 052 (218) 6400
〒460-0003 名古屋市中区錦2-12-14 MANHYO第一ビル7階 www.mtjn.co.jp

KONICA MINOLTA



Giving Shape to Ideas

進化し続けるマルチロール プロダクション印刷システム

350g/㎡の厚紙対応力強化 最大1,200mmの長尺印刷に対応
高速・高品質な封筒印刷 高付加価値を生む多彩な後加工処理

AccurioPress

C2070/C2070P/C2060

*写真はC2070にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 中部営業部
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上名古屋しらかわビル11F
TEL.052-229-4624 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

今号は、リコー様のご厚意により印刷していただきました。

RICOH
imagine. change.

可能性を
カタチにする。

デジタルプリントビジネスの最前線において求められる高い生産性と品質、そして競争力。

スキルレスオペレーションで生産性と品質を両立する新技術「IQCT*」と、
最大4色のスペシャルカラーによる多彩な表現力でビジネスチャンスを拡大します。
新たな「可能性」を拓く最新鋭モデル、RICOH Pro C7200S シリーズの登場です。



RICOH Pro C7210s/C7200s

www.ricoh.co.jp/pp/pod/

NEW

*Inline Quality Control Technology ※写真はRICOH Pro C7210S にオプションを装着したものです。

プロ、体感。

RICOH Printing Innovation Center ショールームスペース

RICOH Proをはじめ、プロダクション プリンティング ビジネスの新たなソリューションをご覧ください。また DTP セミナーも定期的に開催中。
お問い合わせ：050-3534-2121 ※ご利用は予約制となっております。詳細につきましては、担当営業または販売会社までお問い合わせください。



この広告は、リコーが提供する新しいクラウドサービスである RICOH Clickable Paper サービス*に対応しています。

* iPhone/iPad/Android™ アプリケーション『RICOH CP Clicker』(無料)をダウンロードし、広告を撮影(クリック)すると、商品のスペシャルサイトなどインターネット上の関連情報をご覧ください。

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
リコージャパン株式会社 〒105-8503 東京都港区芝 3-8-2

※iPhone、iPadはApple Inc.の商標です。※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。※AndroidはGoogle Inc.の商標です。